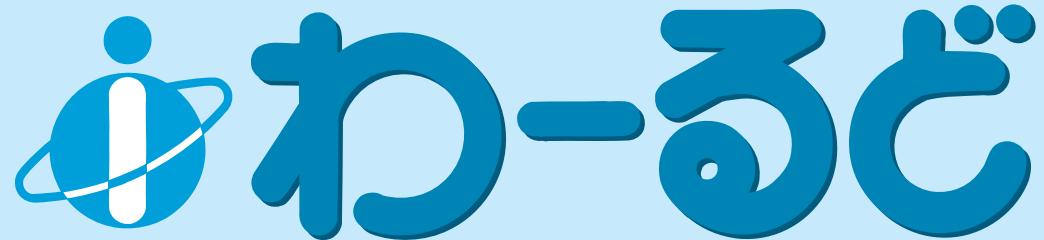


国際交流通信



第16号

2006.10.1

ふれあい交流“いなみ野の里”

## 8カ国10人の留学生がやってきた!

毎年恒例となった「ふれあい交流“いなみ野の里”」。今年は、過去17年間で受入れたことのない4カ国(ネパール・フィジー・トルクメニスタン・タジキスタン)の留学生が参加し、国際色豊かな交流が繰り広げられました。



上段左から、イスラム(トルクメニスタン)、タン(タイ)、パット(フィジー)、ベン(マレーシア)、ドルジョー(モンゴル)

下段左から、テグシェ(モンゴル)、ニマ(ネパール)、シャノザ(タジキスタン)、フウン(ベトナム)、アニシュ(ネパール)

## 心の豊かさに涙 ~生きるエネルギーを得たアマゾンでのボランティア活動~

講師 杉本 和恵さん

JICA日系社会シニアボランティアとして、ブラジルのパラ州ベレン市に介護指導員として派遣された杉本さん。このたびは、2年間(平成16年6月～18年6月)の活動を終えて、アマゾンで生活した中から身につけた生きる知恵や、日系社会の現状などについてお話をいただきます。みなさんのご来場をお待ちしています。

とき 平成18年11月4日(土)13:10～14:10  
(第4回社協福祉まつり内)

ところ 加古福祉会館 多目的ホール

共催 稲美町国際交流協会  
稻美町社会福祉協議会 社協福祉まつり実行委員会



▲厚生ホームでの入居者とのふれあい

## インドのヨガ教室開催中!



▲難易度の高いポーズにも挑戦

アルジュン・グプタさんを講師にお招きし、3カ月にわたる「インドのヨガ教室」がスタートしました。

参加されたみなさんは、肩凝りが解消されるポーズなどを教えていただき、徐々にヨガの世界に入っていきます。

11月まで開催されるこの講座では、少しづつ難易度の高いポーズに挑戦するとともに、参加者にヨガ独特的の呼吸法を身につけていただき、さらに健康的なからだづくりを進めていきます。

## “中国天津市武清区からの贈り物”

今年も、天津市武清区の第八小学校・第六中学校からそれぞれ42点・12点の絵画作品が送られてきました。作品の一部は、8月1日から8月24日までの間、役場ロビーにおいて展示させていただき、たくさんの方にご覧いただきました。

来年には、稻美町の中学生の作品を中国に送る予定であり、着々と交流は深まっています。



▲役場ロビーでの作品展示

## 編集後記

留学生受け入れから中学生派遣まで、行事がめぐるしく過ぎゆき、今はその余韻がそよ風に乗って私たち国際交流委員の頬を通り過ぎて行きます。水玉模様のスカートからシックな茶色のツーピースが似合う季節になりました。さあ残りの行事に全員で取り組み、また、すがすがしさをゲットしよう! (N)

6月11日(日)  
日本語教室ティーパーティー



いきがい創造センターにて、“日本語教室Tea Party”が催されました。

町内小中学校のALT(オーストラリア)をはじめ、インドネシア、ラオス、イギリスなど

▲国際色豊かな交流会となりました。

町内外の外国人やそのご家族、さらに、日本人講師を含めた総勢30名のぎやかなパーティーになりました。

協会紙を見て飛び入り参加されたお客様も来られ、日頃の勉強の成果を発揮して日本語クイズにも挑戦。楽しい交流の一時を過ごしました。

6/24(土) 外国料理教室  
カナダの“チョコレートバー”づくり

カナダのロバート・ダン先生を講師にお迎えし、料理教室を開催しました。メニューはカナダのお菓子、クランチーバーとピーナッツバターボール。参加した小学生たちは、お菓子づくりはもちろん、先生との英語混じりのコミュニケーションも楽しんでいる様子でした。



▲カナダのお菓子づくりに挑戦しました。

PTA  
留学生の皆さんとても日本語が上手でびっくりしました。それについても明るくて、楽しくおしゃべりできて有意義な時間でした。

### 中学生交流 感想文

PTA  
留学生の皆さんも明るい素直な子どもたちばかりで、別れが辛いくらいでした。PTAとして参加させていたただき、貴重な体験をさせていただきました。

### 8月10日(木) ふれあい交流会

民族衣装で勢揃い▶



▲花の生け方を教わります

### PTA 感想文

PTA  
皆さんとても日本語が上手でびっくりしました。それ事をしたり写真を撮ったり、草笛などの音遊びをしました。とても楽しかったです。

### 中学生交流 感想文

PTA  
留学生の皆さんとても日本語が上手でびっくりしました。それを使ってたくさん知つてもらえたと感じます。

### 8月9日(水) 中学生交流

中学校生活の紹介▶



▲花の生け方を教わります



▲お点前ちょうどいいいたします

### 8月9日(水) 万葉茶会

◀できあがったアレンジフラワーを手に



▲お点前ちょうどいいいたします

### 小学生交流 感想文

4年 中本 梨奈さん  
今日は外国の留学生と食事をしたり写真を撮ったり、草笛などの音遊びをしました。とても楽しかったです。

### 姫路城見学 感想文

6年 大西 れなさん  
留学生に日本のことなどを紹介するのはとても緊張したけど、うまくできてよかったです。留学生には日本のことを見てたくさん知つてもらえたと感じます。

### 8月9日(水) 老人クラブ交流

◀できあがったアレンジフラワーを手に



▲お点前ちょうどいいいたします

### イスラムさん 感想文

小山 政喜さん  
日本の大名が造つた城の設計(防衛)が、とても興味深かったです。アーシュさん  
日本の歴史について知る事ができ、とても良かつた。

### 8月9日(水) 万葉茶会 感想文

大西 富子さん  
みなさんは本当に上手で楽しく、どうり作りも上手に出来上がりました。皆さん、夢に向かって頑張つてください。

### 黒田 真由さん 感想文

井上 純美さん  
今回、初めて留学生と交流をし、とてもよい経験になりました。留学生からは、「知らないことがあります。留学生からは、『知らない』という気持ちが伝わってきて、私のほうが学べたと思います。

### 8月9日(水) ふれあい交流会 感想文

橋田 久子さん  
学生たちが自分の国に対して、とても大きなプライドを持って頑張つていらっしゃるのを見て、若さとパワーを感じました。

### 藤本 益美さん 感想文

熊倉 美亜さん  
自分なりに楽しめたと思いました。勉強になりました。今度こういった機会があれば英語で会話できるようにしたいです。

## 8月6日(日) 対面式・歓迎会



### 8月7日(月) 小学校・PTA交流



▲真剣な眼差しで…



### 8月8日(火) 姫路城見学



▲荷作りひもでのぞみりんぐり

# 8日間の記録

## 主なスケジュール

- 8月 6日(日) 対面式・歓迎会
- 8月 7日(月) 小学校・PTA交流
- 8月 8日(火) 姫路城見学
- 8月 9日(水) 老人クラブ交流
- 8月 10日(木) 中学生交流
- 8月 11日(金) 万葉茶会
- 8月 12日(土) ふれあい交流会
- 8月 13日(日) フリータイム
- 8月 14日(月) お別れ会

「この夏も外国からの留学生たちがやって来ますか」と多くの方々より期待を込めて尋ねられます。お陰さまで、平成元年から毎年続け、本年も8月に大阪外大の留学生10名(8カ国)を迎えることができました。  
彼らは、映像を駆使し、歌をうたい、笛をふき、それぞれの故郷について意見発表をしてくれました。様々な民族衣装で、世界中の草原や寺院建築、また、象などを見せていただきました。これは、1週間のホームステイのうち、5日目の夜に開催した「ふれあい交流会」で行われた日本語によるスピーチの情景です。我々にとって知らない国がいっぱいあります。留学生の楽しいスピーチにいろいろ教えられ、感動的でさえありました。最後の日、お別れ会でみんなで「故郷」を唄つてサヨナラをしました。ここで外国人留学生たちは気が付いていたでしょうか。このたび、新しい家族と第2の故郷を得たことを。毎年、当方からのメッセージは次のとおりです。

— 住んで良し  
訪れて良し  
いなみ野の里 —



稲美町国際交流協会  
会長  
渡内 捷之

朋あり、  
遠方より来たる

### 8月13日(日) お別れ会

◀記念の写真をいただき感謝



▲記念の写真をいただき感謝

# ○○ふれあい交流“いなみ野の里”を体験して○○

## アニシュは我が家の中

岡山 幸義

留学生 アニシュ(ネパール)

この夏、我が家にネパールから留学生がやってきました。ちょっと日焼けした礼儀正しい好青年です。

留学生受け入れは2回目ですが、顔を合わすまではとても心配でした。まず、ネパールについての知識がありません。知っていることはエベレストがあって、変な形の国旗の国というくらいです。でも、会って話をすると、好き嫌いもなく何でも食べられるし、3月から習ったという日本語もとても上手で、コミュニケーションをとるのに何の問題もありませんでした。

また、我が家2人の息子とほとんど同じ年のために、話が合ったみたいで毎日遅くまで仲良く話し込んでいました。まるで、我が家にもう一人息子が増えたみたいです。

ネパールには海がないというので、フリーの日は鳴門まで潮見学に連れて行きました。始めてみる海と大きな渦潮にはびっくりしていました。そのうえ、近くの海岸に連れて行くと、服を着たまま海に飛び込んで大はしゃぎ。海水を始めて飲んで、とてもしようばかったそうです。後で聞くと、これが今回の中で一番感激したそうです。お陰で帰りの車ではハンサ一枚で帰ってもらいました。

また、ボーリングも初めて体験しました。彼はサッカーをしているだけあって、運動神経抜群で3ゲームトータル家族で1番。他にもファミリーバドミントン、お茶、お花、お手玉と、初めての経験づくしで喜んでいました。花火大会の日は、他の留学生の家族と一緒にバーベキューを楽しみました。日本の豪快な花火を見て楽しんでいる様子でした。

とにかく1週間、あついう間に過ぎてしまいました。我が家にとって彼にとっても貴重な時間でした。これから、彼は大学受験のため厳しい勉強の毎日になるでしょうが、来年桜の花が咲く頃、大学の合格報告に第2のふるさと稻美町の我が家に帰ってきてくれることを期待しています。



## 蒼き狼

橋田 久子

留学生 ドルジョー(モンゴル)

8月6日、酷暑の中、モンゴル出身の一青年を我が家に受け入れました。

彼のニックネームはドルジョー。今回、プログラム参加の目的は日本文化、生き方、それに生活習慣をたくさん見たり体験したいとのことでした。

核家族の私たちは、彼の希望にうまく添えるかどうか少し心配でしたが、幸運にも文化面や生活用品等は、週前半設定のプログラムを毎日意欲的にこなしていました。廻、竹とんぼ、羽子板、お手玉、ぞうり等には、ゲーム機では得られない安らぎと工夫に喜び、生活習慣から生まれた習字や生け花、お茶等が日本では素晴らしい芸術として伝承していくことに大きな驚きとともに感心したそうです。我が家家の床の間の襖の格花にも興味を持たされました。

また、ホームステイ期間の後半は、タイミングよくチャンギス・ハンの800年祝賀行事が催され、私たちは毎日、新聞・テレビで彼の祖国の情報が得られ、両国のたくさんの話題に接しました。私は常々、モンゴル人の方々を日本では「蒼き狼」と表現する本意や理由に疑問を持っていましたので、その意味の説明をお願いしたところ、モンゴル人の祖先は勇敢で力強い狼を父に、優しく思慮深い鹿を母として生まれたと説明してくれました。そして、我々はずっとこのキャラクターを受け継いで生きていくとおっしゃいました。何と大らかで素朴でロマンチックな生き方でしょう。本当に感心しました。そして、私はまた秋にでも井上靖の有名な小説「蒼き狼」をもう一度読みたいと思いました。

人は多くの人々との出会いで豊かになるといわれますが、私はこの言葉を身を持って実感した1週間でした。



## 笑顔の8日間

前川 和代

留学生 フウン(ベトナム)

以前から、8月に留学生が来て、稻美町の人がホストファミリーをしていることは知っていました。また、交流会が開かれたときには、一緒に参加させていただいたこともあります。そして、今回初めて自分がホストファミリーとして留学生を受け入れることができました。

この8日間を振り返ってみると、本当に多くの人に出会い、多くの場所にいけたなと思いました。姫路セントラルパークにある遊園地にフウンと私の友だちと行ったり、その後には他の友だちや親戚、父の仕事仲間とバーベキューをしました。本当に楽しい時間を多くの人と過ごすことができ、記念写真もたくさん撮りました。次の日には大池まつりにフウンは浴衣を着て出かけました。“日本人みたいに見えますか?”と聞かれたぐらいいフウンは浴衣が気に入っていたようでした。間近で花火を見て、友だちも一緒にになってわいわい盛り上がり、楽しい夜でした。やはり、別れが辛かったけど、今日1日何があって、どんなことをしたか話してくれたフウンの楽しそうな顔や、多くの場所に出かけ、私の友だちの見せる笑顔とフウンの笑顔。本当に私にとってかけがえのない夏の思い出になりました。少しだけ、“おはよう”や“おやすみ”をベトナム語で話せるようになったのもフウンのお陰です。フウンと約束したとおり、今度は私がベトナムに出かけたいと思います。

素敵な友だちができた本当に素晴らしい8日間でした。また来て欲しいと思うし、違う友だちも作りたい、そう思いました。



## ネパールの少女

大前 千里

留学生 ニマ(ネパール)

ネパール——ヒマラヤ山脈、エベレストなど山のイメージが強い国。私たちにとって、知っているようであまり知らない国。そんな国から、大前家に一人のネパールの女の子のニマがやってきました。彼女は家族の中でも一番小さく、とてもシャイな女の子。ニマとの1週間の生活が始まりました。

彼女は、1日の出来事を一生懸命日本語で話してくれました。毎日書かなければならぬ感想文の宿題には戦々苦闘していましたが、書き終わるといつも添削を家族の誰かに頼んでいました。また、お箸の持ち方の練習をして、練習の成果を見せるために時間を計って皆で競争しました。今では、彼女が一番上手に箸を使います。

フリーの時間には、家でDVDを見て、ふれあい交流会のためのスピーチを、あ~でもない、こ~でもないといいながら、いろいろ案を出しながら過ごしました。また、違う日のフリーの時間には、映画を観た後、吹きガラスをしにいきました。初めてだったようで、難しい難しい言いながらも真剣に取り組んでいました。

交流会の時には、ネパールの民族衣装を着ていました。それは、インドのサリーによく似ていて着方を教えてくれました。まつりの時には、私の友だち3人と一緒に行き、花火を見ていいろいろ屋台で買ったり、楽しい時間を過ごしました。

この1週間、ネパールについて知らないことばかりの私たち家族に、いろいろとネパールの素晴らしさを教えてくれたニマ。感想には書けなかったけど、ネパールのカレーは本当に美味しいかったです。

また稻美町に遊びに来てな!



## ようこそ我が家へ、シャノザさん

大向 佐都子

留学生 シャノザ(タジキスタン)

今夏、タジキスタン出身のシャノザさんのホストファミリーをさせていただきました。タジキスタンは中央アジアにある小さな国でそんな遠か遠くの国に住む17歳の女の子が日本に目を向け、日本で学ぼうと思ったことにまず驚かされました。というのも、私たち家族は彼女が我が家にやって来る前は、「タジキスタン??どこ??」という感じだったので。

シャノザさんはスポーツ大好きな、笑顔の可愛い女の子でした。彼女が作ってくれたタジキスタン料理はとても美味しかったです。カリフラワーのピカタとトマトサラダ。どちらも野菜本来のうま味を利用したシンプルな料理でしたが、カリフラワーに馴染みのない娘が「美味しい、美味しい」と言いながら、口いっぱいに頬張っていました。一方のシャノザさんは日本のカリフラワーの小ささにびっくり。タジキスタンのカリフラワーは日本のものの2倍はあるそうです。

タジキスタンは日本とは同じように地震の多い国だそうで、シャノザさんは建物の耐震性についての研究が進んでいる日本で、建築を学びたいという夢を持っています。これからも連絡を取り合いながら親交を深め、彼女の日本での滞在のお手伝いが少しでもできればいいなと思っています。



## 楽しかったホストファミリー

中野 萌

留学生 パット(フィジー)

今回で4回目のホストファミリーでした。パットはフィジーから来た女の子で、とても優しかったです。パットがいた1週間、夜は毎日トランプをしました。フィジーのトランプも教えてもらったり、大富豪をしたりして遊びました。

フリーの時間は、いろいろなところに行っています。一緒にいろいろなところを見てまわって、プリクラも撮りました。パットは、優しくて、面白くて、日本のこと興味を持っていて、いろんなことを話しました。一緒に外大の宿題もしました。でも、パットはわからない単語があったらすぐに調べて、びっくりしました。外大の宿題は、私たちにも難しくて、説明するのも大変でした。でも、日本語の勉強になったと思いました。パットと過ごした1週間はとてもいい思い出になりました。



## 新しい出会いを求めて

木村 京子

留学生 イスラム(トルクメニスタン)

今回、私たちが交流したのはロシアから15年前に独立した永世中立国、トルクメニスタンという国の男子です。日本には馴染みがなく、どんな国なのかな、どんな留学生がくるのかな等、不安もあり、楽しみでもありました。何をしたら喜ぶのか家族で役割り分担を決めたり、いろいろ話し合いました。

彼の名はイスラムといい、非常に明るくてユニークで、すぐに打ち解けて国の話や家族のことなど、毎晩遅くまで話しました。イスラム教徒の彼は、肉類が全く食べられないで、食事の面で少し苦労しましたが、その他のことは何でも感謝する気持ちを忘れず、率先して後片付けや草むしり等を手伝ってくれました。

短い一週間でしたが、家族の一員としてふれあえたと思います。これからもずっと交流を続けていきたいです。

猛暑の中、お世話をありがとうございました皆様、新たな発見を、出会いを、感動をありがとうございました。



## ペン(マレーシア)

初めてホームステイに参加してときどきしました。日本人の家に泊まった事がないので、少し心配しました。しかし、稻美町に着いたとき、みんな熱心に迎えてくれ、心配はなくなりました。

稻美町へ来てからいろいろな活動をしました。例えば、日本の遊び、生け花、茶道、折り紙やぞうり作りなどです。その間にたくさんの日本のことを見ました。こんなことは教科書から習えません。今、稻美町で、自分で体験でき幸せでした。その他に、ホームステイに参加していろいろな日本人に会いました。例えば、日本の小学生、中学生、老人、PTAの人やボランティアなど、みんな親切です。

いろいろな人々から、日本のこと習いました。例えば、学生から日本の教育制度と学校の生活を習いました。そして、老人から昔の日本人の生活を習いました。それに、ホームステイで日本人と一緒に生活することもできます。

日常の生活の中に日本人といつも日本語で話して、日本語が進歩しました。関西弁も少し習いました。本当に素晴らしい、楽しかった。稻美町から帰って、稻美町のホームステイのことを推薦しようと思います。

## タン(タイ)

まず第1に、私がこのホームステイプログラムに参加することのできる留学生の1人であったことが、私は非常に有り難いことだと思っています。

この期間中に、私は稻美町で私のホストファミリーとたくさんの方々と、本当に楽しいひと時を過ごしました。私は、日本文化、歴史、ユニークな芸術と日本のライフスタイルについて多くのことを学びました。

最も印象的な瞬間は、私も私の友人が役場に着いた1日目になりました。歓迎会は非常に暖かくて、印象的でした。私は、稻美町の方々とそのような良い緊密な関係ができるとは思っていませんでした。それ以来、最後の日まで、例えば姫路城への旅行、高齢者やその他の人と交流し、私たちは一緒に多くの面白い行事に参加しました。私は、本当に私が稻美町の人たちと共有した時間に感謝しています。どうもありがとうございます。

## シャノザ(タジキスタン)

ホストファミリーには、私を家族の一員として迎えてくれたことに深い感謝を伝えたいと思います。お母さんはおいしい食事を作ってくれたり、私のスピーチのために英語から日本語にするのを手伝ってくれたりしました。お父さんはアイスクリームのようなものを作ってくれたり、おいしいクッキーやピスケットを焼いてくれました。最後に、娘のひなちゃんは、ゲームをしたり映画や漫画を見たり、私の知らない日本語を教えてくれました。子犬のリボンちゃんは、いつでも私と遊んでくれました。

日本に専門分野の勉強に来ている学生に、このようなプログラムを提供してくれた稻美町の方々に感謝したいと思います。まずは言語を学ばなくてはいけない学生にとって、日本語能力を向上させるのにとっても良いプログラムだと思います。最後になりましたが、私は稻美町でホームステイをしながら過ごした時間を決して忘れません。

## フウン(ベトナム)

稻美町にいる間、私には素晴らしい時間がありました。特に、ボランティアの方は私に強い印象を与えました。ボランティアの方は、いつも私たちのことを手伝ってくれ、とても友好的で、仕事が大変でも、いつも楽しく笑っていて本当に熱心でした。私たちも嬉しくなりました。

ホストファミリーでは、お母さんと一緒に花火を見ました。真っ黒の空の下に花火が見え、私たちは花火が終わっても窓際に立つまま話しをしました。楽しくてあたたかかったのが印象的です。稻美町へ行き、たくさん思い出ができます。私は稻美町へ行くことができ、ラッキーだと思います。みなさんありがとうございます。

## ドルジョー(モンゴル)

来る前の1週間は長い間に感じられていたが、実は本当に早く過ぎた。この1週間にたくさんの経験をした。小学校と中学校に行って、学生たちが私たちのために用意した歌とか楽器の演奏とか、いろいろなことを見た。それだけでなく、学生たちと話をしたり、遊んだりしたので、日本の教育制度や子どもに関してよくわかつてきて、面白い交流会だった。老人とPTAと高校生たちは、一緒にぞうりやそばを作ったり、生け花と茶会をしたり、木の葉で演奏する楽器や竹とんぼを飛ばしたりした。これは全部日本文化のものだったので、大きな関心を引き起しました。

このようなくさんのことの他に、ホストファミリーと一緒に一つの家族として過ごした時間も実際に楽しかった。ホストファミリーと一緒にバーベキューをして、お盆のために寺へ行って、水族館へも行った。

私は4月に来て日本語を勉強しているけど、日本について知らなかったことがいろいろとわかった。この1週間に初めてめずらしい経験をたくさんした。日本について、日本人、日本文化、日本史、日本人の生活が来る前よりずいぶんわかるようになりました。この1週間は私の心にいつまでも残しておきたいと思う。皆さん、どうもありがとうございました。

**私たちの心の中には  
いつも稻美町があります。  
みなさんありがとうございます。**

## テグシェ(モンゴル)

留学生に会った人々は、留学生のみんなを尊敬しました。でも、時々、留学生に対して王や王女のように尊敬したのは、私にはとても恥ずかしかった。本当私は普通の学生である。

私の会った人はみんなとても親切で、優しかった。私の家族のおばあちゃんとおじいちゃんとお姉ちゃんとお姉ちゃんの主人はとても親切な人である。いつも楽しくて、子どもが大好きな人である。私はみんなと一緒にめっちゃ楽しい時間を過ごした。私の日本人の父と母は面白くて、親切で、偉い人です。母と一緒に女の人の大好きなアクセサリーを作ったのはとても面白くて、私の好きなことになった。寮へ帰って、作ろうと思っている。その後、お母さんと一緒に温かく話した。2人の弟は小さくて、私の日本語は下手だから何を話しているのかわからなくてちょっと悲しかった。今は良くなってきたけれども、もう1週間が終わったのはとても残念。

家族と一緒に旅行したとき、粘土でコップを作ったり、船に乗ったり、他の島に旅行したり、海岸で遊んだりとかいろいろなことをした。海のないモンゴルの国からきた私にこうしたこととは全部新しい経験だった。

稻美町で日本人の家族と稻美町の方々と一緒にいた1週間、とても楽しくて、早く経った。この1週間はいつも私の心に残っている。ありがとうございます。

## アニシュ(モンゴル)

僕は日本人の生活について興味があったので、今年の夏休みに1週間、稻美町のホームステイプログラムに登録しました。

私の家族にはお祖父さん、お祖母さん、お父さん、お母さんと2人の兄弟がいます。皆様とても親切です。僕は毎晩直樹と一緒に遅くまでお話をしました。翔太と直樹の二人に、日本語の新しい言葉と漢字を教えてもらいました。自分の国と日本の食料は大いに違うので、ちょっとビックリしました。でも、お母さんは僕のために毎日辛い料理を作ってくれました。

小学校と中学校の学生と、老人クラブの人たちの交流も楽しかったです。でも、おそばの作り方、姫路城の旅行、お茶の習慣と花の飾りは面白かったです。また、1週間の間に初めて海で遊びました。その記念はいつまでも心に残るでしょう。

## ニマ(ネパール)

ホームステイが始まる前、ホームステイはどうなるかと思いつたが、ホームステイは本当に楽ししかったです。

いろいろなところへ行って、いろんなことをしました。小学校と中学校へ行って、学生たちと話して、面白かったです。姫路城の旅行は楽しかった。友だちのためにお土産を買いました。ホストファミリーと一緒に映画を見に行きました。稻美町のまつりも楽しかった。

ホームステイの時間は早く終わったと思います。でも、私たちは9月に試験があります。それまであまり時間はありません。ホームステイは日本へ来てからとても楽しい時間です。夏休みも楽しかったです。ありがとうございます。

## パット(フィジー)

稻美町はとても綺麗な町です。私は稻美町の自然環境が大好きです。この町はとても緑が多いです。

稻美町でのいろいろな交流会は、とても面白かったです。姫路城の見学はとても素晴らしい旅でした。姫路城のガイドにたくさん歴史を教えてもらいました。老人クラブの交流は最も特別でした。あのおばあさんとおじいさんはとても愛する人です。とても優しかったです。私は、稻美町の人たちにたくさんのお土産をもらいました。だから、私の鞄と荷物はとても重くなりました。私は嬉しかったです。

私の夏休みはとても楽しかったです。私は、ご家族の家でたくさんリラックスしました。私のご家族はとても親切でした。お母さんはとても優しかったです。私はご家族とたくさんしゃべりました。だから、このごろ私は日本語で話せます。将来、私は稻美町へ帰ってきます。

## イスラム(トルクメニスタン)

木曜日のパーティーまで、全部の行事が良かった。私がホームステイに来る前には、そんなに面白いと思いませんでした。しかし、私が思っているより楽しかった。

パーティーではスピーチをしなければならなかった。だから、私はパーティーの前に、何について話をしようかと一日中考えました。いろいろ考えて、ホームステイについて、原稿用紙1枚ぐらい書きました。私のスピーチの6番目まで、留学生の皆さんは国について話して、私はピックリしました。私は国について話すのに準備が全然できていなかったから、どうすればいいのかわからなかった。その後で、書いたスピーチを読みました。私のスピーチは国についてではなくて、ちょっと悲しかった。スピーチのあとで一人の友だちが来て、「国について少しも話してなかったよ」と言われ、もっと悲しくなりました。国についての話をしなかったから、みんなに「ごめんなさい」と言いたいです。もし、来年トルクメニスタンの学生が来られたら嬉しいです。「トルクメニスタンについて話してください」と言えるからです。

金曜日は私の誕生日会をし、土曜日も外へ遊びに行って、とても楽しかったです。1週間はとても早く経ちました。みなさん忘れずに、お元気で、さようなら。

## 2度目のホームステイを体験して

藤本 操

留学生 タン(タイ)

1回目の時には、台湾の留学生を受け入れましたが、それから17年が経ちました。その留学生の彼女も、今では東京で立派に働いています。

この度はタイの国の留学生、タン君です。私には4人の子どもがいますが、1番下の娘も今は27歳で、18歳のタン君は、歳の離れた子どものような思いで受け入れました。

フリータイムの時は、日本の伝統文化、和太鼓の練習、自治会での盆踊りの練習、サマー将棋教室と一緒に連れて行ったり、明石海峡大橋(世界一長い吊り橋)を見学にも行きました。スポーツが大好きで、ボーリング、テニス等も家族と一緒に楽しみました。

特にテニスはサンスポでしたが、もう一度したくて、2回目は加古川の河川敷のコートへ早朝に行くことにしていました。その朝は、普段ゆっくり寝ているのに5時30分くらいに起きて、6時ごろには準備OKという熱の入りようでした。

食事のときは電子辞書を片手に一生懸命、日本語、日本の文化を勉強しようとしています。プラス思考的なもののとらえ方、真しい学ぶ姿勢、好奇心旺盛な若者の独特的の良さを前面に出したタン君の姿に、私もいっぱい教えられました。

時にはバーベキュー、くるくる寿司、中華料理、焼肉食べ放題と、娘や息子家族とも合同で楽しかった1週間。あつという間に過ぎていきました。

別れのときは、12月の試験が済んだらまた来ますと約束をして、大阪の寮へと帰って行きました。試験の合格を祈願しながら、再度会えるのを楽しみに待っています。



## ベン君へ

西川 茂美

留学生 ベン(マレーシア)

ベン君、お元気ですか。

私たちと過ごした8日間は楽しかったですか。

日本の普通の家庭を知つたら、ホストファミリーを引き受けたのにもかかわらず、皆それぞれに忙しく、たいしたものでなしができなかつたのが心残りです。

それでも、私の英会話教室のクラスに飛び入り参加したりして、小学生や中学生ともふれあうことができましたね。

皆、「顔は日本人みたいやのに英語は上手やなあ」と驚いていましたね。

それから、フリータイムの日の須磨水族館へポートビアホテルの外食は楽しかったですね。お姉ちゃんを待つ間、3人で話ができたのがとても思い出に残っています。

今は、9月の試験に向かって猛勉強していることでしょうね。

秋風の吹く頃、また私たちを訪問してください。

## 心地よい風

米澤 陽子

留学生 テグシェ(モンゴル)

今年はどこへ遊びに行こうか?家族で相談していた頃、ホストファミリーのお誘いがありました。家は子どもが3歳と4歳、私も仕事をしているので無理かなと思い、一度考えさせて下さいと伝えました。主人と相談し、女の子で食事制限のない方なら何とかなるかなと思い、以上を条件にホストファミリーを引き受けた決心をしました。食事は本当に何でも食べられるのだろうか?個室を与えた方が良いのだろうか?生活習慣は?子どもをいじめないのだろうか?等々、いろいろ不安が…。

ついに対面式当日、モンゴルから来た女の子テグシェが現れました。彼女を見るなり全ての不安が飛んでしまいました。食事はさしみでも納豆でもOK、日本食大好き!子どもたちとも仲良く遊んでくれました。迷っていた個室もやめ、雑魚寝にしようと決めました。子どもたち、テグシェと私の4人で川の字になり寝ることにしました。それが良かったのか、息子たちが彼女になつづくのに時間がかかりませんでした。息子たちは本を読んで頼んだり、一緒にごっこ遊びをしたりと、とても楽しそうでした。ホント子守かりました。

彼女は、アクセサリー作りに興味を持ったので、毎晩テグシェと私でピアスやネックレスを作りました。モンゴルの今を聞きながら作業し、日本同様モンゴルも離婚が多いらしく、多くの女性が職を求めている。ゲルで暮らす人は半数以下で、多くの人はマンションや家に住んでいる。そして主食は肉(主に牛肉)で、ご飯は副食である等々。私にとって有意義でとても楽しい時間になりました。

フリーの日には、淡路島へ旅行。海のない国から来た彼女にとっては、全てが初体験のこと。海に触れ、風を感じ、素晴らしい一日だったと言ってくれました。

ホームステイは一週間。あつと言う間に別れのときが近づいてきました。送別会当日、涙・涙の別れです。とても寂しくて楽しかった日々を思い出しました。家に帰ると何か物足りなさを感じました。私たち家族は、海外旅行へ行った訳でもないのに、何とも言いようのない心地よい風が家の中に吹いていたような気がしました。

